

めあてを高く
できるまで やれ

岡崎市立梅園小学校
校長室だより 2

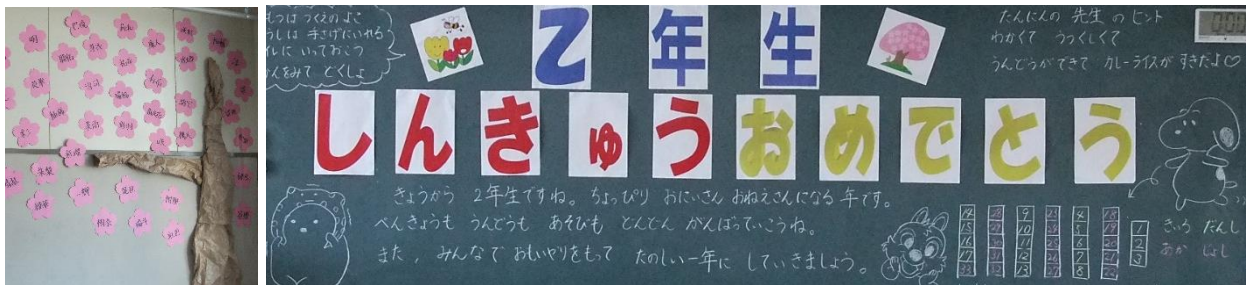
令和 2年 5月13日
こん どう ふみ ひこ
近 藤 文 彦



・・・ 新年度が始まり1か月が過ぎ ・・・

令和2年4月6日に入学式、4月7日に始業式があり、令和2年度が始まりました。しかし、4月7日の「愛知県緊急事態宣言」を受け、4月8日(水)～4月19日(日)までの臨時休業となりました。4月20日(月)からの学校再開に向けて準備を進めていたところ、4月10日の「愛知県緊急事態措置」により、5月6日(水)までの臨時休業期間の延長となりました。4月13日(月)～16日(木)には各学級担任が家庭訪問し学習課題等を配付しました。子供たちの学習支援等を行うために分散登校日を検討していたところ、4月16日(木)には愛知県が国の緊急事態宣言に基づく特定警戒都道府県に指定され、緊急事態措置として5月31日(日)まで再び臨時休業期間が延長されました。現在は6月1日(月)からの学校再開に向けて準備を進めています。

入学式・始業式で、少しの時間だけ入った教室の様子も随分変わりました。本来は子供と一緒に学級掲示などを作り上げていくべきものもありますが、少しでも授業や学級活動を円滑に進めることができるように各担任が準備しています。



【入学式・始業式の日：教室の様子】



【現在の教室の様子】

入学式・始業式の教室には担任の名前がわからないようにメッセージが書かれていたり、これからどうなるのかワクワクする掲示物があったりしました。そんな教室も現在は登校した4月7日に決めた係活動や級訓などが掲示されています。これから、2か月を越える臨時休業期間を過ごした子供たちの学校での生活習慣・学力を伸ばす学習習慣を取り戻すことに全力で取り組まなければならないと考えています。

…どうメッセージを届けるのか…

「先生から子供たちへ」CATVミクス

4月17日（金）の夕方、ケーブルテレビMICSの取材がありました。新型コロナウイルス感染拡大防止の臨時休業が始まった3月から岡崎市内の小学校を回って先生から子供たちへのメッセージを収録して放送しています。本校の先生からのメッセージもMICSのホームページから視聴することができます。ぜひ、視聴してください。

どこの学校もその学校の子供たちに合わせた方法や表現でメッセージを伝えていました。子供の発達段階を考えて、学年ごとにメッセージを伝えている学校もありました。そんな中で本校はどのように伝えるのかと担当者の準備の様子を見ていると、「音楽でメッセージを届ける」ということがわかりました。音楽集会が盛んな本校らしいと感じました。子供たちに私たち教師の思いが届くように、音楽総監督のもとで音楽と身体と心で表現しました。

星野さんは、この曲に込めた思いを次のように話しています。「ひらがなの“うち”にすることで、心の“内”っていう意味になるなと思ったんですね」「“お”を取るだけで心の内側で踊ろう、心が躍るっていう感じになる」「いま本当に大変で、気がどうしてもたってしまう、怒ったり、悲しんだりとかどうしてもしてしまう」「日常の感覚だったり、楽しい、面白い、そういうのを忘れないようにしたいと思ったので、“心を躍らせよう”っていう、そういう意味をこめて『うちで踊ろう』っていうタイトル、歌詞にしました」・・・そんな思いが子供たちにも伝わっているとうれしいです。

たまに重なり合うよな 僕ら
扉閉じれば 明日が生まれるなら
遊ぼう 一緒に

うちで踊ろう ひとり踊ろう
変わらぬ鼓動 弾ませろよ
生きて踊ろう 僕らそれぞれの場所で
重なり合うよ

うちで歌おう 悲しみの向こう
全ての歌で 手を繋ごう
生きてまた会おう 僕らそれぞれの場所で
重なり合えそうだ

【星野源作詞作曲：「うちで踊ろう」】



早く日常を取り戻す支援…

4月7日の朝、1年生の教室では6年生による読み聞かせがありました。こんな当たり前の風景が懐かしいです。課題提出の子供の声も響いています。日常を早く取り戻すため、ここからの支援をしっかりと行いたいと考えています。



【6年生の読み聞かせ】